

下水道新聞

Vol. 24

下水道マスコットキャラクター「スイスイ」

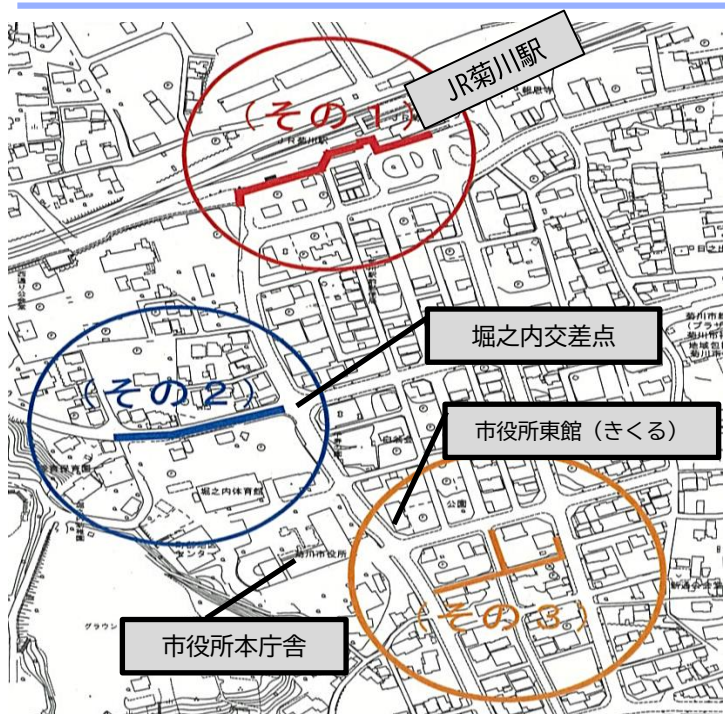


菊川浄化センター 下水道課 TEL 35-0933

<http://www.city.kikugawa.shizuoka.jp/kurashi/jougesuidou/gesuidou/index.html>

今年も広がる下水道 令和3年度工事予定

きれいで住みやすいまちをつくるため、下水道管の埋設工事を行います。



【工事予定箇所は計6か所】

令和3年度の下水道管理設工事は、堀之内地区と加茂地区それぞれ3か所ずつ、計6か所を来年の3月末まで行う予定です。

今年度の工事によって公共下水道の使用が可能となる方々には、今後、案内の通知などを送付する予定です。

近くをお通りになる皆様には、交通整理などでご迷惑をおかけすることとなりますが、何卒ご理解のほど、よろしくお願いいたします。



よろしくお願いいたします

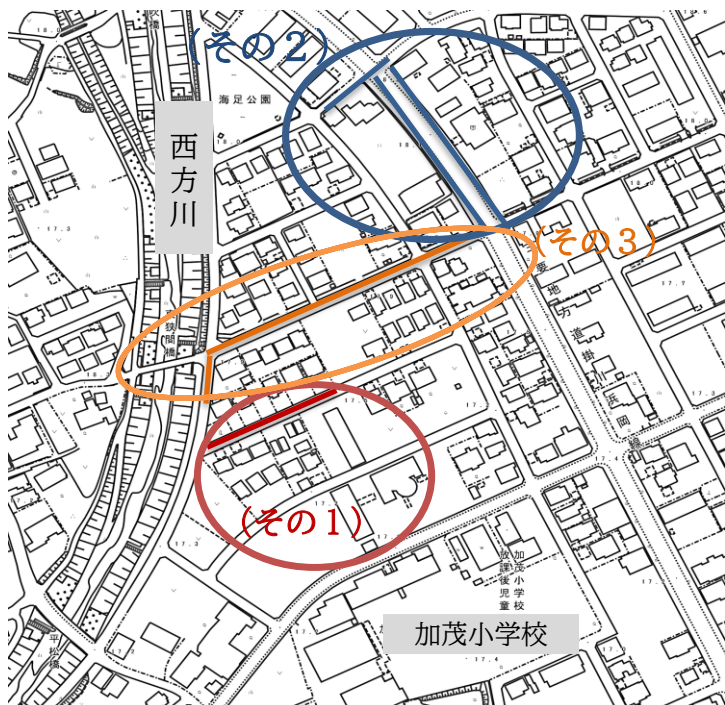


～下水道まめ知識～

【9月10日は下水道の日】

「下水道の日」は、諸外国と比べて著しく普及が遅れていた日本の下水道の普及を図るため、全国的に下水道をアピールする活動として1961年（昭和36年）から始まりました。この当時、下水道を使用できる人は全国のうちわずか6%ほどでした。

下水道には、生活排水を処理するほか、雨水をすみやかに流して街が冠水するのを防ぐ役割もあります。9月10日は立春から数えて220日目にあたり、大きな台風に備える特別な日のうちのひとつでありました。この台風シーズンの特別な日が下水道の雨水を流すという役割となじみがあるとして定められたものです。



公共下水道への早期接続を！

負担金の減免や補助金には限りがあります。

【菊川市の公共下水道プロフィール】

菊川市で公共下水道が使用できるようになってから、今年で17年目となりました。これまでの下水道管理設工事によって、下水道管の総延長は約84.9kmとなり、下水道が使用できる区域の面積は約321haとなりました。下水道が使用できる区域内人口の約91%にあたる、約12,300人が下水道を使用しています。

【下水道への切り替えは供用開始から2年以内がお得です】

公共下水道に接続できるようになってから2年以内に浄化槽などから公共下水道へ切り替えていただくために、工事費の一部補助や受益者負担金の減額制度があります。

下水道受益者負担金の減額

- 下水道を使用できるようになってから1年以内に接続した場合

20万円 ⇒ 8万円 (12万円 減額)

- 下水道を使用できるようになってから2年以内に接続した場合

20万円 ⇒ 14万円 (6万円 減額)

※新築は対象となりません。

下水道接続工事費補助補助金

- 下水道を使用できるようになってから2年以内に接続した場合

最大 10万円 を工事費に応じて補助

※工事費が30万円に満たなかった場合、事業所や共同住宅が下水道へ切り替える場合、新築の場合は補助の対象となりません。

補助金や受益者負担金の減額制度は、下水道への接続が可能になってから2年以内の期間限定です。

工事に必要な経費は時間が経って安くなるものではありませんので、早期接続が一番経済的です。

減免制度や補助制度を受けるには所定の期日までに工事が完了していることなどの条件がありますので、詳しくは下水道課までお問い合わせください。

公共下水道接続促進の戸別訪問実施のお知らせ

菊川市下水道課では、公共下水道への接続が可能になった区域においてまだ浄化槽などを使用している方々を対象に、公共下水道への切り替え促進を目的に戸別訪問を実施しています。

訪問時は、市職員の身分証明証を携帯し、マスクの着用や手指消毒など感染症対策を行ったうえで伺います。

公共下水道の役割や仕組み、浄化槽と比較した際の費用などについて説明させていただきます。

ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。